

平成30年度 事業計画書
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団

平成30年度 事業計画書

美術・音楽・舞台芸術の3部門における個人及び芸術団体の優れた意義を有する芸術活動に対して助成支援を行うとともに、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営の文化事業を行う。

助成にあたっては、独創性、企画性、国際交流、地域振興、社会へのメッセージ等の観点から対象者を絞り込み、助成先活動を支援する。また、授与式を開催し、助成先同士および選考委員との交流、意見交換の場とする。さらに、選考委員および事務局による活動、公演の視察、評価を実施し、助成の効果を検証することも行う。こうした取り組みを進めることによって、助成先の満足度を高めると同時に、助成事業の価値を一層高め、財団の使命を達成していく。

アサヒビール大山崎山荘美術館の運営については、お客様満足・認知度を高め、魅力を発信するとともに、関係先との連携を密にして、建物の充実を図る。

主たる事業の計画

1. 芸術文化活動への助成

1) 美術、音楽、舞台芸術への助成

平成29年度に開催した選考委員会の答申に従い、美術、音楽、舞台芸術の3部門、総計502件(29年度度474件)の案件から、45件に対し総額2,200万円の助成を実施する計画。

2) 日本伝統工芸展への助成

伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する目的で開催されており、平成20年から助成をしている。30年度50万円の助成を実施する計画。

2. アサヒビール大山崎山荘美術館の運営

次の施策を展開し、お客様満足・認知度を高め、魅力を発信する。

1) 企画展開催

生活工芸紹介、所蔵品活用、大山崎山荘との関係性を考え、次の企画を実施する。

会期	企画名
4.21~7.16	「ウィリアム・モリス - デザインの軌跡」
7.28~9.2	「サム・フランシスの色彩」(仮称)
9.15~12.2	「谷崎潤一郎文学の着物を見る」

12.15～2.24

「櫛・かんざしとおしゃれ展」

ウィリアム・モリス（1834-1896）は、イギリスの詩人・デザイナーで、当館とも関係の深い民藝作家にも影響を与え、「モダンデザインの父」と呼ばれた。本展では、その作品を紹介する。

サム・フランシス（1923-1994）はアメリカの抽象画家で、今回の展覧会では、東京都現代美術館寄託品も含め、アサヒビール社所蔵品を紹介する。

谷崎潤一郎（1886-1965）は日本近代文学を代表する作家であり、大山崎山荘を設計・建設した加賀正太郎とも親交があった。本展は、谷崎の文章、写真や挿絵からヒロインたちの着物を再現し、紹介する。

江戸から昭和までの櫛とかんざしを中心に、女性風俗を偲び、紹介する。

2）建物の充実

本館外壁改修工事、本館照明LED化工事、展示室・収蔵庫の空調機修繕、器具・建具等の整備を、お客様の鑑賞の妨げにならないよう、工事業者との連携を密にとり、行う。

3）お客様満足追求取組

満足度調査データの分析・活用を図るとともに、企画展開催に合わせた情報発信を行い、更なる満足度向上に繋げる。

主たる事業の予定

平成30年度(30年4月1日～31年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
平成30	4	9	平成30年度助成授与式	
	4	21	大山崎山荘美術館企画展	「ウィリアム・モリス - デザインの軌跡」(～7月16日)
	5	31	理事会	・平成29年度事業報告、決算書類等承認の件
	6	20	定時評議員会	・平成29年度事業報告の報告、決算書類等承認の件
	7	28	大山崎山荘美術館企画展	「サム・フランシス展」(仮称)(～9月2日)
	9	15	大山崎山荘美術館企画展	「谷崎潤一郎文学の着物を見る」(～12月2日)
	11	1	平成31年度芸術文化活動助成公募開始	募集期間：～11月30日
	12	15	大山崎山荘美術館企画展	「櫛・かんざしとおしゃれ展」(～2月24日)
31	1	下旬	芸術文化活動助成選考委員会	平成31年度芸術文化活動助成案件の選考(～2月)
	2	下旬	大山崎山荘美術館本館照明LED化工事	工事期間約20日
	3	上旬	理事会	・平成31年度事業計画・収支予算の承認の件 ・平成31年度芸術文化活動助成選考結果承認の件

以上